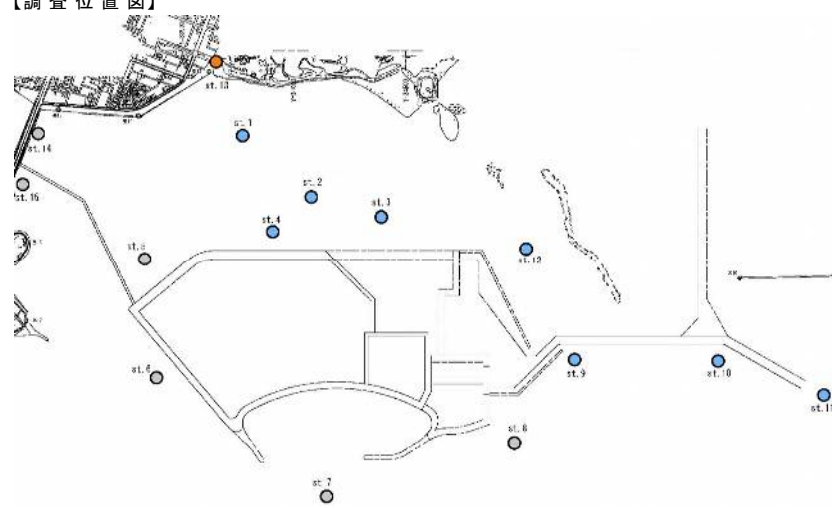


		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	<p>クビレミドロ監視地点及び、工事の濁り監視地点の全てで、監視基準を満足していた。 クビレミドロ監視地点での最大値は4月10日のst.1で3.2mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は4月1日のst.12で3.1mg/Lであった。</p>		<p>今月の国施工事は、汚濁防止膜撤去等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p>	
	水質調査結果	<p>クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3: SS=7mg/L】 全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は1.6mg/L、0.7～3.2mg/Lの範囲で推移していた。</p> <p>工事の濁り監視地点基準値【st.4～12: SS=11mg/L】 全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は0.9mg/L、0.2～3.1mg/Lの範囲で推移していた。</p> <p>流入部負荷量の調査地点 SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=4回(9計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=0回(9計測中) 平均値は10.9mg/L、2.0～32.0mg/Lの範囲で推移していた。</p> <p>流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。 4/1の32.0mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日9.5mm、前日12.5mm、当日36.0mmであった。</p>		
基準超過時の気象概況	<p>全ての地点で、監視基準を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p> 	
基準超過時の工事状況	<p>全ての地点で、監視基準を満足していた。</p>			







第1回(4月期モニタリング/フィードバック 月例会議)

対象期間: 令和7年4月1日～令和7年4月30日 沖縄県調査分

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視 観察 結果	<p>調査地点の最高値は、4月10日(AM)にst.5で観測された6.2 mg/Lであった。 期間中は、全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>		<p>工事に伴う濁りは確認されなかった。</p>	
	<p>工事の濁り 監視地点 基準値 【st.5～8: SS=11mg/L】</p>	<p>期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。  平均値は1.5 mg/L、&lt;1.0～6.2 mg/Lの範囲で推移していた。</p>	<p>特になし</p>	
	<p>詳細 結果</p> <p>流入部負荷量 の調査地点</p>	<p>SS=11 mg/Lを超えた回数: st.14 = 9計測中3回 st.15 = 9計測中2回  SS=50 mg/Lを超えた回数: st.14 = 9計測中0回 st.15 = 9計測中0回</p>	<p>特になし</p>	
	<p>流入水路部調査地 点(st.14、st.15)は 監視地点ではない ため、基準値は設 定されていない。</p>	<p>st.14: 4/1 (AM 下げ潮時) 16 mg/Lが最大値であった。 降雨による濁水流入が見られた。 なお、調査時までの降水量は前々日9.5mm、前日12.5mm、当日36.0mmであった。(気象庁・胡屋)  st.15: 4/1 (AM 下げ潮時) 24 mg/Lが最大値であった。 降雨による濁水流入が見られた。 なお、調査時までの降水量は前々日9.5mm、前日12.5mm、当日36.0mmであった。(気象庁・胡屋)</p>		
基準 超過 時の 気象 概況	<p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p>	
基準 超過 時の 工事 状況	<p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			



